

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科

家庭

科目

服飾手芸

教科： 家庭

科目： 服飾手芸

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 3 組 四修制選択生徒

教科担当者： (糸井直子)

使用教科書： (なし)

教科 家庭

の目標：

【知識及び技能】人の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それに係る技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】様々な人と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

科目 服飾手芸

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
基本的な手芸の技法を習得し、作品を製作することができる。 計画的に作品の製作をすることができる。	製作するデザインに適した素材を選び、自分の技量に合わせたデザインを考え作品の製作をし、レポートにまとめ発表ができる。	習得した技術を応用し、各自の生活で活用できる小物について考察し、作成を積極的に行うことができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A クロスステッチ 基本縫い 【知識及び技能】 布の特性を理解し、その特性に合わせた縫い方ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 模様に合わせて、縫い方を選択して刺繍することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 準備、片づけを進んで行き、道具や教室の整備を行うことができる。	○指導事項 ・クロスステッチの基本的な縫い方の練習 ・クロスステッチの作品製作（基礎的な模様） ○教材 ・指導資料 ・記録表 ・用具、手芸の材料 ○一人1台端末の活用 等 ・資料の提示 ・作品の記録・レポート作成	【知識・技能】 クロスステッチの基礎縫いができているか。 【思考・判断・表現】 クロスステッチの技法を習得し、模様に合った刺し方を自分で選択し表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 道具の準備や片づけを進んで行うことができ、実習の記録を行うことができる。	○	○	○	16
	B クロスステッチ 各自のデザイン 【知識及び技能】 基礎的な技術を習得し、デザインの参考例を活用し、各自でデザインを考える。 【思考力、判断力、表現力等】 デザインに合った刺繍糸を選び、デザインの色を決めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 準備、片づけを進んで行き、道具や教室の整備を行うことができる。	○指導事項 ・クロスステッチのデザイン ・デザインの色決定 ○教材 ・指導資料 ・記録表 ・用具、手芸の材料 ○一人1台端末の活用 等 ・資料の提示 ・作品の記録・レポート作成	【知識・技能】 自分の技量に合わせて、デザインを考える。 【思考・判断・表現】 自分のデザインに合った刺繍糸を選択し表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 道具の準備や片づけを進んで行うことができ、実習の記録を行うことができる。	○	○	○	14

